

平成29年度 北海道小学校長会
第3回理事研修会
60周年記念事業に係る
経費の拠出について
基金管理運営委員委員長
平成29年9月7日(木)



本委員会では、60周年記念事業に係る経費を道小基金から拠出することについて、会長から諮問され、8月4日に基金管理運営委員会を開催した。そこで、60周年記念事業の予算案を審議し、道小基金からの拠出について検討した。ここに提案する。

記念事業を実施するに当たり、道小基金から2,000,000円を運営費として予算化した。支出の部を説明する。記念誌発行費として1,000,000円、式典・祝賀会費として1,000,000円の予算を組んだ。

平成19年度に行われた前回の50周年記念事業では、記念誌発行費として2,000,000円、式典・祝賀会費として2,000,000円、計4,000,000円の予算を組んでいたが、経費削減と会費の値上げを実施している現在の道小の会計状況を踏まえ、50周年より半分の予算額としている。

これから、支出の部の項目ごとに、50周年と比較して、経費節減をした部分を説明する。

まず、記念誌発行費の内訳として印刷費を800,000円としている。50周年では、別冊として発行したので、約150万円の印刷費がかかっていた。今回は、教育北海道321号の増刷版として発行するため、印刷業者から800,000円の見積額を提示されている。

次に、記念式典・祝賀会費の内訳として、招待費を150,000円としている。50周年では、約90万円の招待費がかかっていた。今回は、来賓と、同日に行われる第4回理事研修会に出席していない現監査委員の旅費の支出とするなど、最小限に抑えることとした。

また、記念品費であるが、過去10年間の会長・副会長に渡していた記念品費は0円として、感謝状だけ渡しするようにした。50周年では約20万円の記念品費を支出して記念品を渡していた。

このように、現在の道小の会計状況を考慮に入れながら経費節減をして、予算書を立てている。予算は2,000,000円としているが、できるだけ支出をおさえ、残額を返戻できるようにしたいとも考えている。

これで、60周年記念事業に係る経費2,000,000円として、道小基金からの拠出することについて、ご提案する。どうぞ、よろしく願います。